



わかあゆ 2022

～吾こそが知性のペンを磨きゆく～

佐世保市立柚木中学校 学校だより
《令和4年1月4号》
文責：校長 埋ノ江 章
令和4年1月12日(水)
今日は何の日：スキーの日(1911)
桜島の日(1914) 等

柚木中精神：校門の第一歩は学習の第一歩
学校教育目標：心豊かで自ら学ぶたくましい生徒の育成
めざす生徒像：思いやりのある生徒 意欲的に取り組む生徒 わばり強くやり抜く生徒
三無一礼：無言清掃 無言配膳 無言整列 校門での一礼
一校一徳運動スローガン：Let's Greet! ～笑顔の花を咲かせよう～

生徒会スローガン：Draw tomorrow! ～明日を描こう!～

～ 学校・家庭・地域共通の子育て目標 ～
いつでも・どこでも・誰にでも、あいさつができる柚木っ子の育成

実力テストを終えた「今」がチャンスの時ですよ!!

冬休みモードを一瞬にして吹き飛ばすような「実力テスト」が昨日、今日と実施されました。

納得のいく手応えを感じた生徒のみなさんはどれほどいたでしょうか？

日々の授業と家庭学習の取組の真価が試されたことは間違いないはずです。様々な思いが一気に渦巻いたかと思えます。肝心なことは、**自分にとっての「学び」**をどのようにしていくことが大切なのかを自分なりに考え深め、**具体的な日々の学習の積み重ねを継続していくこと**です。

学習に取り組む上で「ひらめき」は大事なことです。その「ひらめき」を活かしていくと同時に、自分の苦手意識を克服するための粘り強い取組が必要不可欠です。

今回の実力テストは、今、生徒のみなさんに求められているのは「**令和の日本型学校教育**」に基づく学習に取り組む意識の変革と取り組み方を自分事として捉え直すこと、そして学び深めることにあります。

これまでも機会を捉えながら「**令和の日本型学校教育**」について伝えてきましたが、学習に向き合う時、常に「**何を学ぶか**」「**どのように学ぶか**」そして、その結果「**何ができるようになったか**」という意識ができるようになってきたのでしょうか？

自分にとっての「学び」の積み重ねがいかに大切なことなのかを自覚できた時、自分の意識の変化に気づくことができるはずです。3年生にとってはそれが高校入試と向き合う「今」なのかもしれませんが、1、2年生も今回の実力テストを契機に、新たな考え方や取り組み方を自分のものにできないものかと願っています。

「人生の主人公は自分」 ～ 10年後の自分の姿が想像できますか? ～

早いもので、いつの間にか還暦の年が過ぎ、定年退職の年を迎え、自分の人生設計の上でも大きな「節目」を迎えました。これまでいくつもの人生の「節目」を経験してきましたが、今回の「節目」は自分の人生の大きな一区切りとなるものと思っています。しかし、「**人生100年**」と言われ始めたことで、これからも「節目」を迎えることがたびたびあるものと自分に言い聞かせている状況です。

さて、今回は「**人生の主人公は自分**」という文章と出会うことができたので、生徒のみなさんにもお知らせをすると同時に、将来に対する夢や希望、志を抱くと同時に、10年後の自分の姿を想像して欲しいと思います。

さらに、人生の中で最も輝かしい、夢に満ちた20代を過ごすために、今、何をすべきかを考えてみて欲しいと思います。

私たちの生活をより良いものにしていくためには、周囲の条件を整える必要もあるでしょうし、身近な人に自分の考えを理解してもらうことも大切でしょう。しかし、一番大切なことは、自分自身の考えを、より良い方向に変えていくことではないでしょうか。

私たちの心は、自分の自由にはたらかせることができます。その分、しっかりした指針が必要です。

自分の人生の主人公は自分です。自由自在にはたらかせることのできる心をより良く生かして、感謝と喜びをもって、主体的に歩いていきたいものです。

< ニューモラル No.629 令和4年1月号 より引用 >

今、自分の20代を思い起こしてみると、「自由」を謳歌(おうか)し、将来への夢を語り合った友だちとの時間が蘇ってきます。「夢」と「現実」の厳しさを実感した時期だったことも忘れられないですね。

***今日の名言：みんなちがって、みんないい。(金子みすゞ)**